

事務事業名	雲南都市計画事業 丸子山周辺土地地区画整理事業	所属部	建設部	所属課	都市建築課
政策名	総合計画体系 (II) 環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》	所属G	都市計画グループ	課長名	嘉本 俊一
施策名	(04) 計画的な土地利用と市街地整備	担当者名	渡部 克彦	電話番号 (内線)	0854-40-1064
基本事業名	(010) 都市機能地域の整備	予算科目	会計 3:5 1:0 0:5 1:0 0:1	目 中事業	沿道区画整理型街路事業(委託、単独)

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (22年度 ~ 29年度)	都市計画道路等の幹線道路の整備について、公共施設管理者負担金制度を活用した土地地区画整理事業を実施し、周辺地域と併せて整備を行い良好な住宅市街地を形成し、土地利用の増進を図ることを目的とする。 平成22年度予算までは、一般会計予算で、平成23年度予算より公管金導入により、特別会計予算での執行となった。	(都)新庄飯田線は、平成14年に飯田地内から整備着手しているが、このままのスケジュールでは、全線開通は平成30年代後半の見込みである。地元からの早期全線開通の要望に伴い、島根県からの合同施行の提案により、本事業を導入し、(都)新庄飯田線の早期事業完了を図る。

(2) トータルコスト

		単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体計画
① 事業費の内訳(概要)	事業費	千円						
	財源内訳	千円		7,100	199,200	257,704		1,588,000
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	人件費	人	2	2	2	2		
換地設計 地権者調整→仮換地指定→換地処分	延べ業務時間	時間	50	200	200			
設計業務 設計→発注→完了→検査	人件費計 (B)	千円	191	778	788	0	0	
工事施工 設計→発注→竣工→検査	トータルコスト(A)+(B)	千円	441	40,417	343,493	269,899	0	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

① 主な活動	23年度実績(23年度に行った主な活動)	実施設計 2.1ha 建物補償調査 13戸 仮換地指定 2.1ha 建物補償契約 5件							
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	宅地造成工事 2,000㎡ 建物補償 5件 事業計画書変更 1式 仮換地指定変更 1式							
手段	⑤ 活動指標	ア 区画道路築造(309m)	単位 m	21年度 (実績) 0	22年度 (実績) 0	23年度 (実績) 0	24年度 (目標) 0	25年度 (目標)	最終 (目標)
	イ 建物移転(21戸)	単位 戸	0	0	0	7			
	ウ 宅地整地等(11810㎡)	単位 ㎡	0	0	0	500			
	エ 調査設計(設計・換地)	単位 式	1	1	1	1			
	オ								

② 対象(誰、何を対象にしているのか)	幹線道路(都市計画道路) 事業区域	⑥ 対象指標	ア 道路延長(420.5m)	単位 m	21年度 (実績) 421	22年度 (実績) 421	23年度 (実績) 421	24年度 (目標) 421	25年度 (目標)	最終 (目標)
	イ 事業実施区域	単位 ha	2.1	2.1	2.1	2.1				
③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	幹線道路(都市計画道路)が整備される。 区画整理された良好な宅地が整備される。	⑦ 成果指標	ア 道路整備率	単位 %	0	0	0	0		
		イ 事業費実施率	単位 %	0	10	20	35			
		ウ								
④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	地域特性を活かした有効かつ効果的な土地利用を進める。	⑧ 上位成果指標	ア 便利で住みやすい街だと感じている市民の割合	単位 %		58.8	57.1			
		イ								

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
(都)新庄飯田線の早期全線開通を望む住民意見が多くてきた。	特になし	地権者から早期に事業を完成し、事業効果をあげてほしい旨の要望がある。

事務事業名	雲南都市計画事業 丸子山周辺土地 画整理事業	所属部	建設部	所属課	都市建築課
-------	---------------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 都市計画道路の整備に併せ周辺の土地を整備し、良好な住宅環境を整備し地域の活性化を図る。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 県道、市道、公共施設の整備に併せ、上下水道や電気、電話の生活基盤整備を総合的に調整し施工する必要があるため公共で整備すべきである。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象は都市計画決定された区域内であるので妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 島根県事業と一体的に整備し、円滑な事業推進を図るため、これ以上の向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 都市計画決定された事業であるので、地権者の権利を制限しており、休止・中止は大きな影響がある。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 類似事業なし <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ コスト削減に努めており、これ以上の削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 最小限の人員で対応している。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 受益の度合いにより精算金により処理を行う。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	島根県との事業調整により、事業を施行した。 地権者・地元住民の理解と協力により事業推進をした。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) H29年度事業完了を目標に事業を推進する。	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし																							